



2019年8月29日

ソフトバンク株式会社

一般社団法人 日本スポーツマンシップ協会

千葉商科大学

株式会社千葉ジェッツふなばし

子どもたちの健全な育成に向けて、 スポーツマンシップ教育の推進で連携

～Pepper を活用した Robo Blocks スクールテンプレートをスポーツマンシップ教育に展開～

ソフトバンク株式会社（代表取締役 社長執行役員 兼 CEO：宮内 謙、以下「ソフトバンク」）、一般社団法人 日本スポーツマンシップ協会（代表理事：中村 聡宏、以下「日本スポーツマンシップ協会」）、千葉商科大学（学長：原科 幸彦）および株式会社千葉ジェッツふなばし（代表取締役社長：米盛 勇哉、以下「千葉ジェッツふなばし」）は、子どもたちの心身の健全な育成を目的としたスポーツマンシップ教育の推進で連携します。

今回の連携では、日本スポーツマンシップ協会と千葉ジェッツの監修・コンテンツ協力の下、「Robo Blocks（ロボブロックス）スクールテンプレート」※を活用したスポーツマンシップ教育の授業用コンテンツを搭載した人型ロボット「Pepper」を使って、子どもたちにスポーツマンシップの本質の理解とその心構えを教える授業を行います。千葉商科大学の学生が Pepper を補助役として活用して、千葉県内の小中学校の部活動やスポーツ教室、クラブチームおよび千葉ジェッツが行うバスケットボール教室などにおいて、2019年9月から授業を行います。

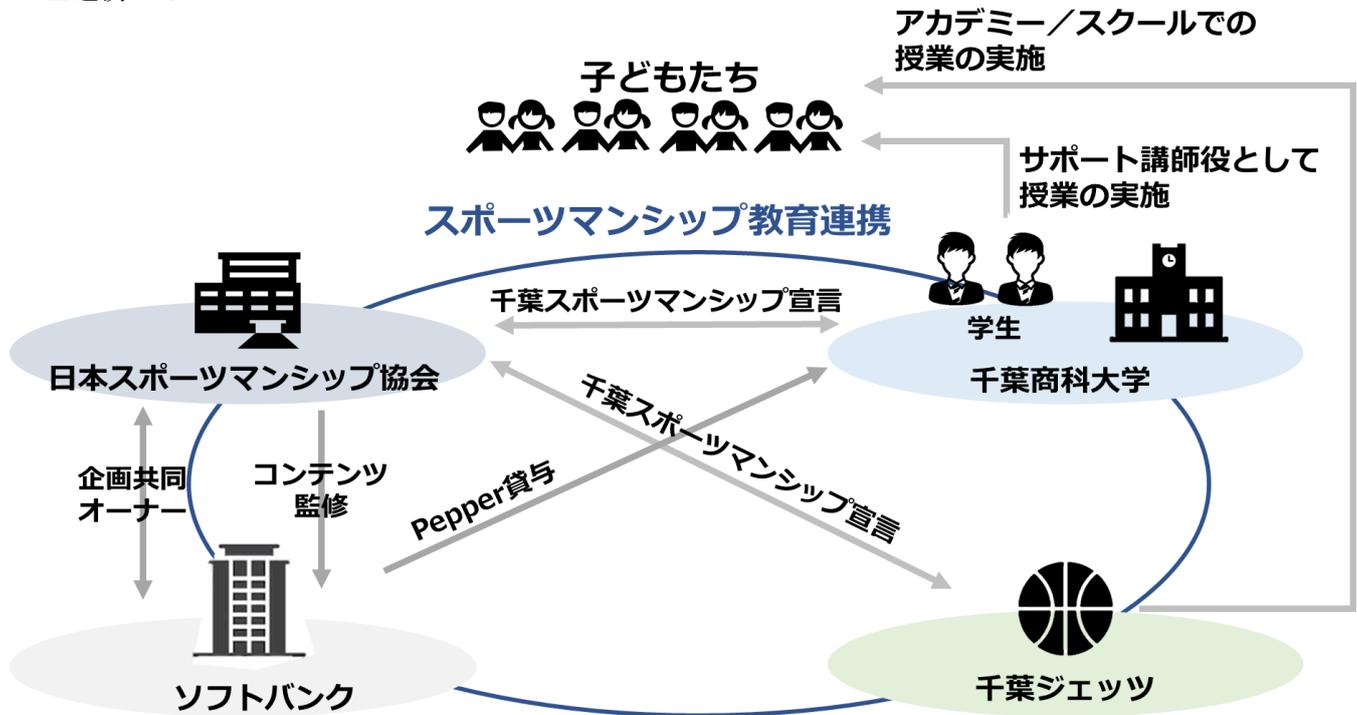
日本スポーツマンシップ協会、千葉商科大学および千葉ジェッツふなばしは、スポーツ界におけるさまざまな不祥事やハラスメント、体罰、チーム内のいじめなどの問題に対して、スポーツの本質的価値であるスポーツマンシップの意義を再確認し、理解と実践を行うことによる解決をめざし、「千葉スポーツマンシップ宣言」を行い、選手・スタッフに対する勉強会を実施しています。また、日本スポーツマンシップ協会では、小中学校のみならず、国内各地の高校・大学や、アスリート、プロスポーツチーム、スポーツ指導者、経営者などに向けた講演・授業・研修会などを行っています。

ソフトバンクは、社会貢献活動の重点領域の一つとして、子どもたちの育成支援に関する取り組みを行っています。また、スポーツにおいては、プロバスケットボールの「B.LEAGUE」のパートナーであるとともに、福岡ソフトバンクホークスと連携して子どもたちにスポーツの素晴らしさを届けています。さらに、社員の健康維持・向上を重要な経営課題の一つと位置付けて健康経営宣言を行い、東京都スポーツ推進企業に認定されるなど、企業活動としてスポーツの支援・推進に力を入れています。

こうした活動を背景に、このたび日本スポーツマンシップ協会、千葉商科大学および千葉ジェッツふなばしによるスポーツマンシップに係る取り組みに賛同し、連携することになりました。

今後、ソフトバンクと日本スポーツマンシップ協会は、さまざまな団体や教育機関などと連携しながら、Pepper の活用を含めたスポーツマンシップ教育の取り組みを全国に展開していきます。

■連携のイメージ



※ ソフトバンクグループ株式会社とソフトバンクロボティクス株式会社は、プログラミング教育の分野で Pepper を活用してもらうため、Pepper 向けの教育用プログラミングツール「Robo Blocks」を使って教員が授業プログラムを簡単に編成できる「Robo Blocks スクールテンプレート」を提供しています。教員や子どもたちとの Pepper を介した授業中のやりとりをテンプレート化し、Pepper を使った授業プログラムが簡単に作成できます。「アイスブレイク」や「ディスカッション」「2 択クイズ」など約 20 種類のテンプレートを展開し、テンプレートをひとコマの授業用に構成したプログラムも提供しています。

- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- その他、このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は各社の登録商標または商標です。

【本件に関する報道関係者からの問い合わせ先】

ソフトバンク株式会社 広報室	担当：鈴木 Tel：03-6889-2301
一般社団法人 日本スポーツマンシップ協会 事務局	担当：中村 Tel：03-6260-8716
千葉商科大学 戦略広報センター	担当：富田、篠宮 Tel：047-373-9968
株式会社千葉ジェッツふなばし パートナーサービス部	担当：高野 Tel：047-401-4084